

総務政策委員会会議録

招 集

令和3年8月18日（水）午後1時 議場

出席委員（9名）

（委員長）奥 岩 浩 基 （副委員長）岡 村 英 治
安 達 卓 是 稲 田 清 今 城 雅 子 岩 崎 康 朗
岡 田 啓 介 尾 沢 三 夫 西 川 章 三

欠席委員（0名）

説明のため出席した者

【総務部】辻部長 佐小田防災安全監
[防災安全課] 田中課長補佐兼危機管理室長 田淵危機管理室係長 足立危機管理室主任

出席した事務局職員

松下局長 土井次長 佐藤議事調査担当係長

傍 聴 者

門脇議員 戸田議員 森谷議員

報告案件

- ・令和3年度防災ラジオ整備事業の進捗状況及び申込受付の再開について [総務部]
- ・7月の大雨における対応について [総務部]

~~~~~

## 午後1時00分 開会

○奥岩委員長 ただいまから総務政策委員会を開会いたします。

本日は、執行部から2件の報告を受けたいと思います。

初めに、令和3年度防災ラジオ整備事業の進捗状況及び申込受付の再開について、当局からの説明を求めます。

佐小田防災安全監。

○佐小田防災安全監 それでは最初に、令和3年度防災ラジオ整備事業の進捗状況及び申込受付の再開について御説明いたします。お手持ちの資料を御覧ください。

米子市は、本年2月インターネット端末等を十分に活用できない高齢者のみの世帯、重度の障がいのある方や介護が必要な方がおられる世帯に対し、防災ラジオの優先的有償配布に取り組み、4月から5月には、一般向けに世帯に有償配布の希望を募集しました。

配布状況についてですが、スケジュールが短期間であったため、周知が行き届かなかったり手順の煩雑さ等、理由が挙げられますが、資料記載のとおり申込みが思うように伸びませんでした。防災ラジオは、防災無線の内容を天候等に左右されず確実に聞くことができ、災害時の情報を基に判断し、正確な避難行動を取れることが期待できます。特に、情報端末等での情報取得が困難な方に対して、引き続き配布の拡大を図っていくところです。

今後の配布計画ですが、9月28日から申込受付を開始いたします。有償については、新たな取組として期限を設けず常時受付として、電子申請での受付、また配布対象者の範囲を拡大して、市内事業者の申込みを可能といたします。無償については、有償と同様に

常時受付いたします。また、緊急情報を確実に取得できる環境を整備する観点から、指定避難所に設置いたします。

市民への周知については、資料記載のとおりです。説明は以上です。

**○奥岩委員長** 当局からの説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

安達委員。

**○安達委員** これは意見ですので。市民への周知ですが、以前もこのようなときに発言したかなと思うんですが、FMを紹介してありますけれども、中波、AMとか、それから、自分が視聴者なんですけれども、ケーブルテレビの情報番組、チャンネルありますよね、あれも活用されたらいいじゃないかなと思ったりします。ただ、これはお金がかかりますので、予算を組み立てないといけませんけれども。そういったところの周知の方法とか手段を考えられたらどうかなと思います。以上です。

**○奥岩委員長** 岡村委員。

**○岡村委員** ちょっとお伺いしたいんですけれども、これはまず何台用意されておって、有償・無償合わせて1, 141台の配布状況になっているのか、これについてどういうふうに分析されているのか。先ほど、手続きの煩雑さがあったというふうに言われたと思うんですけれども、どういった手続きの煩雑さがあって、それはどういうふうに改善されようとしているのか、これについてお伺いします。

**○奥岩委員長** 田淵防災安全課係長。

**○田淵防災安全課危機管理室係長** まず、用意していた防災ラジオなんですけれども、市で用意していた、購入したラジオが4, 000台ございます。250台を消防庁の無償貸与事業に伴いまして借り受けて、それを無償貸与分として対応させていただきました。在庫が残っているのは、そのうち3, 109台が残っております。手続きの煩雑さということにつきましては、郵便受付でのみということで、今回受付させていただいたんですけれども、まず公民館に申込書を取りにいかないといけないということであったり、切手を貼って御自身で郵便ポストまで入れに行かないといけないといった手続きの煩雑さというところがあるんじゃないかなというふうに考えております。以上です。

**○奥岩委員長** 岡村委員。

**○岡村委員** その煩雑さというのは、今後どういうふうに改善されようとしているのかということについてお伺いします。

**○奥岩委員長** 田淵係長。

**○田淵防災安全課危機管理室係長** この煩雑さにつきましては、お手元の資料に記載してありますが、電子申請という申請も設けまして、切手を貼り付けたりとか、文書をお手元に用意していただくという手間なくインターネットサイトに入って申込みさえすれば、引換券がお手元に届いてくる、そういった仕組みを取ろうとしております。

**○奥岩委員長** ほか、ございますでしょうか。

今城委員。

**○今城委員** 我が家も防災ラジオ、申込みしまして、大変役に立っております、これはいいなというふうにすごく思って、私も心待ちにしながら申込みをしたんですけれども、そのときに、さっきおっしゃったみたいに用紙を市役所に取りに行ける、私なんか毎日来

ているので全然問題なかったんですけど、まず用紙があって、それを読んで記入してという、そういう作業というか、そういうプロセスが必要ですよ。そうなったときに、やっぱり例えば一番心配するのは、お一人暮らしとか、それからお昼とか家族がみんないらっしやらないとあって、そういうところで何かってというのが一番の心配事ではあるかなと思うので、そういう方たちをフォローするためには、先ほどテレビとかAMとか、そういうところもどうですかっておっしゃったんですけど、例えば在宅の見守りの方だとか、そういう感じのところ、地域でわかっているところとかにどうですかって言って配布してもらおうとか、そこも実は自治会に入っておられるところだけしかフォローできないので、自治会に入っておられないところの御家族とか、そういうところはどうですかっていうのは、もうちょっと作戦を考えないといけないと思うんですけども。そういう配布の仕方みたいなどころから、もう一回ちょっと違うパターンも考えてみてはどうかなって思います。先ほどおっしゃっていた電子申請もそうなんですけれども、いいと思うんですけど、大概のお一人暮らしの高齢の方が心配だからこそこれをやるというふうに決めたわけで、そういう方たちが電子申請に向かえるかという、コロナのワクチンのときもそうだったんですけど、諦めるんですね、みんな。そういうのは、もう分らんけんていうので。そういうところが分からんけん諦めるっていう人たちに、新たにこれをしましたって言っても、さして皆さんの気持ちの中に届くのかなっていうちょっと疑問がありますので、違う角度のアプローチも少し考えていただければなというふうに思いますので。これは要望ですので、よろしくをお願いします。

**○奥岩委員長** ほか、よろしいでしょうか。

〔「なし」と声あり〕

**○奥岩委員長** それでは、次に、7月の大雨における対応について、当局からの説明をお求めます。

佐小田防災安全監。

**○佐小田防災安全監** 続きまして、7月の大雨における対応について御説明いたします。資料のほうを、すみませんが御覧ください。

お手持ちの資料に時系列で記載しておりますが、7月の4日から13日にかけて、梅雨前線の停滞により大気の状態が非常に不安定となり、各地で大雨となりました。米子市でも土砂災害のおそれが高まり、警戒レベル3・4の発令を行いました。

まず、7日午前5時25分に気象台から土砂災害警戒情報が発令され、土砂災害警戒区域がある地区の13公民館に自主避難所を開設いたしました。8日明け方には一旦落ち着いたものの、その後、雨が強まり、土砂災害の危険度が高まったことから、午後2時30分に災害対策本部を設置し、警戒レベル3、高齢者等避難、警戒レベル4、避難指示を発令いたしました。翌9日、午後2時に土砂災害警戒情報が解除され、午後2時30分、避難指示を解除し、避難所を閉鎖いたしました。週が明けて、12日に再び強い雨が降り、午前10時に土砂災害警戒区域がある自治会に対して、警戒レベル3、高齢者等避難を発令しましたが、午後3時30分に解除いたしました。一連の流れについては、資料記載のとおりです。あわせて、避難所への避難者延べ人数も記載いたしております。被害については、被害状況に応じて担当部局が対応に当たり、人的被害についてはありませんでした。説明は以上です。

**○奥岩委員長** 当局からの説明は終わりました。

委員の皆様からの意見を求めます。

今城委員。

**○今城委員** この一連の中で、市役所の皆さんに対応していただいた案件が何件かあって、大変お世話になりました。私がちょっと感じたところなんですけれども、当たり前のことなんです、土日であっても災害は待ってくれなくなっていうふうに、これが本当に現実で、もちろん夜もそうなんですけれども、何かがあったっていうときとかに、風がすごかった日が日曜日だったと思うんですけれども、市民の方から連絡があって、扉が飛んでしまったというので、市営住宅だったんですけど、倉庫の扉が飛んだっていう話があって、市役所に電話したんですけども、聞いてはもらえたけど対応してくれるかどうか分かって、心配で電話しましたって私のほうにあって。私も、日曜日なんでどこに連絡しようかなって考えたんですけど、こういう状況になっていけば当然防災安全課さんは待機をきちっとしてくださっているはずだと思って、まず防災安全課に電話したら、きちっと対応してくださっていたんです。そこは、私が防災安全課さんがいるよねってということが分かっているんで、だいたい予測ができているのでそれはいいんだけど、市民の皆さんは、土日とか夜とかに、どこにどういうふうに連絡していいのかということをおそらく分かっておられないかと思って。日曜日に電話したときに、こんな様子ですって話したときに、その人が本当に担当の人なのか、電話を取ってくださるお休み対応の方なのか市民の皆さんには案外わからないんですよ。なので、そこら辺をどうするかってところが、常にどこかにそういう心配事みたいなのが集中しすぎるのもよくないんですけども、本当にきちっと伝わっているのか分からないというのも、またこれちょっと心配事で、この辺の土日とか夜とかの対応はどうなっているのかなというのが、ある程度きちっとした体制と、それと連絡はここにさせていただいていいですよということが分かるようなことが、今後あれば安心かなというふうに、この一連のことで思いました。対応をきちっとしていただいていたことは、実際に電話したりとかしてすぐ分かったんですけども、市民の方はどう感じられたのかなっていうのは、ちょっと皆さんで検討いただければ助かるなというふうに思いましたので、よろしくをお願いします。

**○奥岩委員長** ほか、よろしいでしょうか。

岡村委員。

**○岡村委員** まずは、7月、8月の大雨対応については本当に御苦労様でした。本当に今年は雨災害というか、大雨災害というのが、鳥取県内でも被害をもたらしたということがあったんですけども、そういったときに本当に迅速な対応というか、そういうものの大切さというのを痛感させられたんじゃないかというふうに思います。

そういうことで、ちょっとここで一点、この記載の中で気になったことが、避難所の関係で宇田川公民館は土砂災害警戒区域のため避難所として開設せずということが書いてございます。ただ、宇田川の地域の方は、じゃあどうするのかといったことについて、それは宇田川の地域の方にはきちんと周知されているのか、どういうふうに周知されているのか、これについてお伺いします。

**○奥岩委員長** 田中防災安全課課長補佐。

**○田中防災安全課長補佐兼危機管理室長** まずは、避難所の開設につきましては、今、岡村委員がおっしゃられたとおり宇田川公民館につきましては土砂災害警戒区域を含む地区ではございますが、公民館自体が土砂災害警戒区域の範囲内に入っておりますので、この

たび開設をしております。今回、避難指示を出させていただいたことに伴って、やはり住民の方、特に宇田川地区の方からも複数お問い合わせをいただいております。まず、防災の立場としましては、避難というのは難を避けていただくことですので、必ずしも指定避難所でなくても安心な場所があれば、そちらにおいていただいても結構ですという御案内はさせていただきますが、やはり住民の多くの方については、避難というのは避難所に行くことだと思っておられる方がおられるということで、その辺の広報・周知の方法については、もう少し工夫をしていただきたいという御意見も頂戴しております。一方で、土砂災害警戒区域を含む自治会に対しましては、各自治会長のお宅に、防災安全課から総合政策部のほうに指示を出しまして、自治会長さんあてに直接お電話で、こういったことで避難指示をさせていただいておりますという御連絡をさせていただいたという経緯がございます。もう一点、宇田川地区への周知については、今後もうちょっと考えていけないといけない部分ではあるんですが、逆に宇田川の複数の自治会から、じゃあどのような避難をすればいいのか、防災安全課の話聞かせてくれというリクエストもいただいておりますので、そういった形で対応を丁寧させていただきたいと。そのことをもって、今後避難行動を取っていただく場合に迷いなく避難行動をとっていただく、その選択肢の一つとして指定避難所に逃げていただくというような形に持っていったらなというふうに考えております。課題として捉えております。

（「よろしくをお願いします。」と岡村委員）

**○奥岩委員長** ほか、よろしいでしょうか。

安達委員。

**○安達委員** 経過のところで、日時迫って、このように報告をもらったんですが、いただきたいなというので捉えられるかどうか分かんませんが、情報番組なんか見ると予想される降雨量というのを出しますよね。中国地方、山陰地方ではこのくらい降りそうだと。降り始めからこれだけ降りましたというのが、どこか情報でいただけたら、あんなに降ったんだけん避難所も開設され、土砂災害もあの辺では発生したんだなという情報の提供が一つ項目でいただけたらなと思います。それと、災害本部はいつでもどこでも開かにかいけんですけれども、自分、昼間でしか会いませんが、駐車場で、公用車で出かけて行かれますよね、窓口によっては。被害状況を確認に。そのときの服装を見てると、この場で言っているかどうか分かんませんが、様々な格好をしておられますけれども、土木系の方は長靴履いて2人で行かれるなどは見るんですが、自分感じるのが、出来るかどうかわかりませんよ、ヘルメットとか、長靴も膝の近くまで長いのがありますよね。ああいった長靴が準備してあるのかどうか。そういったものはどうなんでしょう。あまり長い靴とかを履いて出られる雰囲気は見ないですが、どうですか。

**○奥岩委員長** 佐小田防災安全監。

**○佐小田防災安全監** 今、委員さんがおっしゃっている、やはり技術系のほうの部署だと思えますけれども、職員全員には防災服上下、それから帽子が配付されています。ただ、長靴自体はやはり各自で用意するような格好になっております。ヘルメットのほうも部署によって、防災安全課もヘルメットのほうはあるんですけれども、都市整備課とか道路整備課なんかはヘルメットを持っておりますが、市民生活部の課で技術系のところと一緒に現地確認する場合があります。その際は、持っておられないことがありますので、たぶんそれを委員さんのほうは見られたんじゃないかなと思っております。実情は、こういった

格好になっております。

○**奥岩委員長** 安達委員。

○**安達委員** そういう現状を見ましたので、準備できるなら市のほうで準備できないものかなっていうふうに見させてもらいました。やっぱり行かれる人も安全対応をしなきゃいけないので、やはり長靴はもちろんことヘルメットも必要なときには必要じゃないかなと思って見ましたので、その辺の備品、備付けができればぜひお願いしたいという要望です。以上です。

○**奥岩委員長** ほか、御意見ございましたでしょうか。

〔「なし」と声あり〕

○**奥岩委員長** それでは、以上で総務政策委員会を閉会いたします。

**午後 1 時 1 9 分 閉会**

米子市議会委員会条例第 2 9 条第 1 項の規定により署名する。

総務政策委員長 奥 岩 浩 基